



「大陸命第五六九号發令の件」

開戦劈頭の南方要域攻略に先立ち、大本營陸軍部は、昭和 16 (1941) 年 11 月 15 日、南方軍に対し「速ニ南方要域ヲ攻略スヘシ 進攻 (進入) 作戰開始ニ関シテハ別命ス」(大陸命第五六四号)、12 月 1 日、「十二月 X 日進攻 (進入) 作戰ヲ開始スヘシ」(大陸命第五六九号) と發令しました。作戰の開始日 (X 日) を命令すれば南方諸軍は開戦に突入することになっていました。

大本營陸海軍部では、X 日決定に関する隠語を、X 日は「ヒノデ」、一「ヒロシマ」、二「フクオカ」、三「ミヤザキ」、四「ヨコハマ」、五「コクラ」、六「ムロラン」、七「ナゴヤ」、八「ヤマガタ」、九「クルメ」、十「トウケフ」と決めていました。作戰開始は、「大陸命第五六九号 (鷲) 發令アラセラル」と X 日を示す隠語『『ヒノデ』は『〇〇〇』トス』を電報すればよかったです。なお、「鷲」は大本營を意味していました。

写真は、12 月 2 日に開戦日が 12 月 8 日と決まり、參謀總長杉山元大將が、14 時、『『ヒノデ』ハ『ヤマガタ』トス』、つまり X 日は 12 月 8 日という電報 (參電第五二九号) を台北の南方軍總司令官寺内寿一大將に送信したものです (登録番号：中央一作戰指導重要電報-12)。

これを受領した寺内大將は、「誓ツテ任務ヲ完遂シ聖慮ヲ安ンシ奉ランコトヲ期ス」と返電するとともに、隷下部隊に攻略作戰の実施を命じました。また、同じ要領によって、南海支隊長と支那派遣軍司令官にもグアム島及び香港攻略に関する大陸命が發令されました。